

## 地上デジタル放送を受信するための 簡易なチューナーの無償給付などの支援について

### 地上デジタル放送を見るために。

2011年7月までに今までのテレビ放送(地上アナログ放送)は終了します。  
それまでにテレビを「地上デジタル放送」対応に変える必要があります。

地上デジタル放送の番組を見るためには、地上デジタルテレビに買いかえるか、お手持ちのアナログテレビに「地上デジタルチューナー」をつなぐなどの必要があります。

総務省では、経済的な理由で地上デジタル放送が受信できない方に対して、簡易なチューナーの無償給付(現物支給)などの支援を行います。

#### (1) 支援の対象者は?

日本放送協会(NHK)の受信料が全額免除の世帯で、以下の世帯が対象です。

- ①生活保護などの公的扶助を受けている世帯
- ②市町村民税が非課税となる障害者の世帯
- ③社会福祉事業施設に入所されている人

#### (2) 申請の開始時期は? 平成21年10月1日から申請受付が開始されます。

#### (3) 申請方法等は?

申請方法等は下記へお問い合わせください。

<簡易なチューナーの無償配布に関すること>

総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター(総務省地デジコールセンター)

0570-07-0101 ※IP電話からおかけになる場合は 03-4334-1111

<NHKとの受信契約、受信料免除に関すること>

NHK視聴者コールセンター

0570-07-7077 ※IP電話からおかけになる場合は 044-871-8444

または 06-6910-3315



### 新型インフルエンザ「うつらない・うつさない」ために!

今回の新型インフルエンザは、感染力が強いものの、多くの方は軽症のまま回復されています。しかし、糖尿病、ぜんそく、人工透析を受けている患者など基礎疾患のある人や妊婦、乳幼児、高齢者については、重症化する恐れがあるので注意が必要です。

#### ★どのような人が重症化しやすいのですか?

○次の持病のある方は、治療の経過や管理の状況により、重症化する恐れがあるとされています。手洗いの励行、人混みを避けるなどして、感染しないように注意するとともに、症状が出た場合の対応について、主治医に相談しておきましょう。

・糖尿病、慢性呼吸器疾患(ぜんそくなど)、腎機能障害、慢性心疾患、免疫機能不全

○妊娠中の方は、かかりつけの産科医師に電話をして、医療機関の紹介を受けましょう。

○乳幼児、高齢者の方は、かかりつけ医をもって、日頃から相談しておきましょう。

#### ★インフルエンザにかからないために

○なるべく人混みを避け、必要以上に外出をしないでください。

○外出から帰ったら、手洗い、うがいを励行してください。手洗いは、石けんを使って最低15秒以上こすり、清潔なタオル等で拭きましょう。

○ふだんから十分な栄養と休養を取り、体の抵抗力を高めましょう。

○部屋は定期的に換気し、冬場など乾燥する季節は、湿度を保つようにしましょう。

#### ★咳エチケットを守りましょう

○咳、くしゃみがでるときは、マスクを着けましょう。

○咳、くしゃみの際は、他の人から顔をそむけ、ティッシュで口や鼻をおおう。使ったティッシュはすぐに、ごみ箱に捨てましょう。

○咳やくしゃみをおさえた手、鼻をかんだ手は、ただちに石けんを使って、ていねいに洗いましょう。ハンカチ、タオルを他の人と共用することは避けましょう。

#### ★急な発熱・せきなど「かかったかな?」と思ったら、早めに受診して治療を受けましょう

○かかったかな?と思ったら、外出を控え、咳エチケット(マスク着用など)を守りましょう。

○受診に際しては、あらかじめ、身近な医療機関に電話をかけ、受診時間や受診方法などの指示を受け、必ずマスクを着けて受診してください。

○診察の結果、インフルエンザと診断されたら、周りにうつさないように外出をさけて、自宅で療養してください。入院は、重症の方のみとなります。

○家庭や職場など、周りに妊婦や乳幼児、持病がある方がいる場合は、特に咳エチケット、手洗いなどを心がけ、うつさないように注意しましょう。